

日本BS放送株式会社

2016年8月期 第2四半期 決算説明会

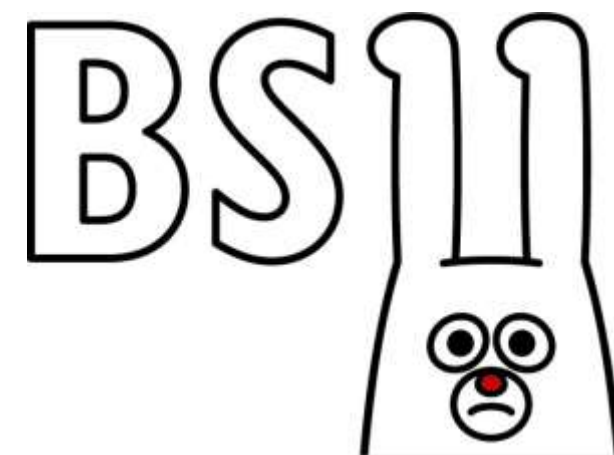
2016年4月22日



東証一部 コード:9414

I	第2四半期決算概況と通期の見通し	・・・ 2
II	事業環境	・・・ 13
III	重点経営施策	・・・ 18
IV	(ご参考)会社概要	・・・ 25

I 第2四半期決算概況と通期の見通し



2016年8月期 第2四半期 総括

売上高 **4,898百万円** (前期比 12.5%増)

営業利益 **1,184百万円** (前期比 6.4%増)

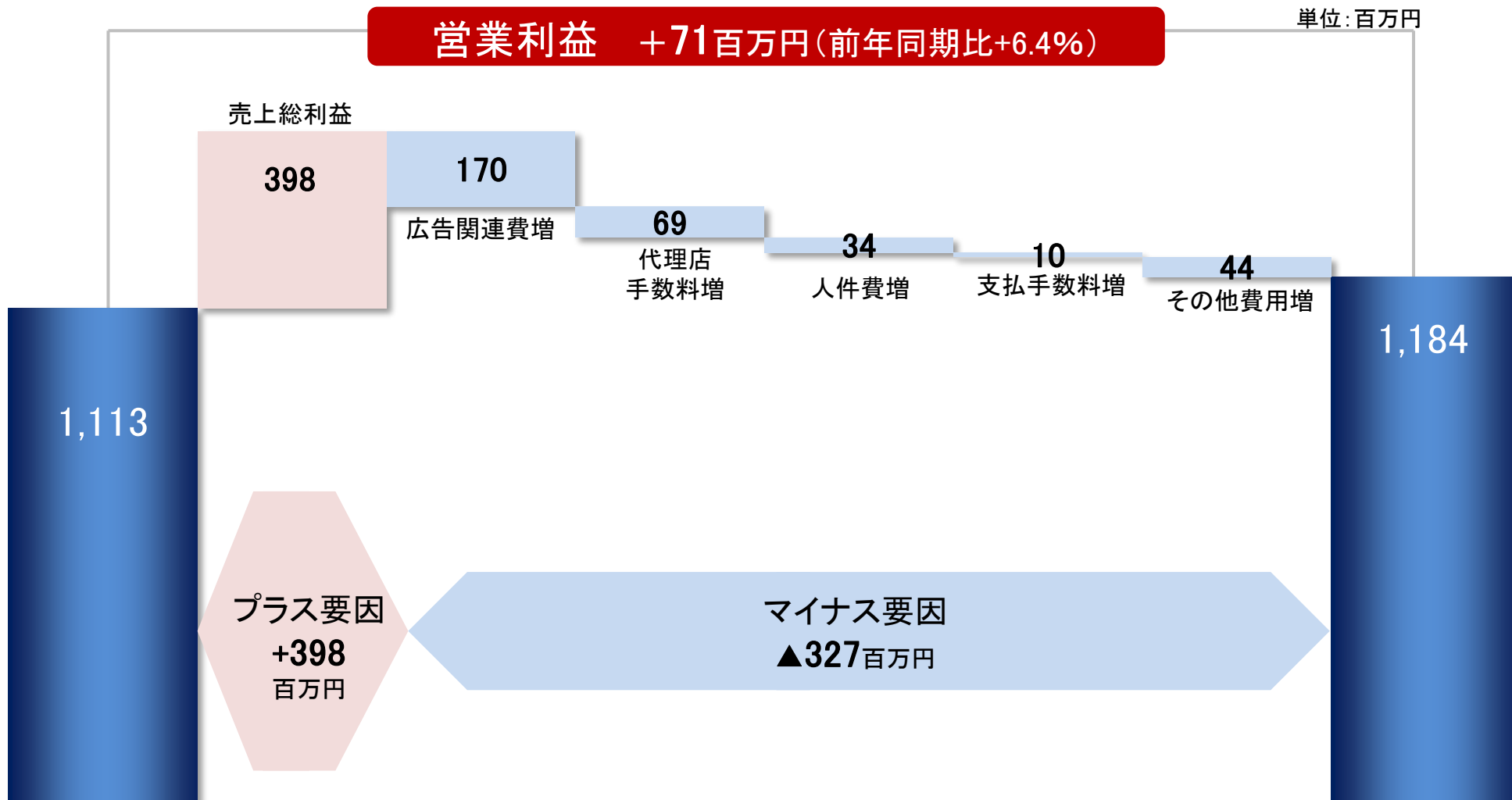
- 売上、利益とも計画・前年を上回って推移
- 高品質な自社制作番組の放送による広告枠の付加価値向上
- 番組視聴世帯数増加を目的とした効率的な広告宣伝の実施

(単位: 百万円、下段は構成比)

	2015年8月期 第2四半期 累計	2016年8月期 第2四半期累計						
		実績	前年 同期比	増減額	計画 (期初)	計画比 (期初)	増減額 (期初)	主な変動要因(計画比)
売上高	4,354 (100.0%)	4,898 (100.0%)	+12.5%	+544	4,850 (100.0%)	+1.0%	+48	(売上高) タイム収入(通販枠増加等)の 好調による増加
売上総利益	2,319 (53.3%)	2,717 (55.5%)	+17.2%	+398	— (—)	—	—	(段階利益) ・売上高増加及び売上原価・販管 費の効率的使用による利益増加
営業利益	1,113 (25.6%)	1,184 (24.2%)	+6.4%	+71	910 (18.8%)	+30.2%	+274	≪利益増加の具体的要因≫ 売上原価: ・番組関連費用は計画内での 効率的使用 ・その他原価項目の効率的使用
経常利益	1,096 (25.2%)	1,185 (24.2%)	+8.1%	+89	910 (18.8%)	+30.3%	+275	販売管理費: ・広告関連費用は計画内での 効率的使用 ・その他販管費の効率的使用
四半期純利益	708 (16.3%)	802 (16.4%)	+13.2%	+93	567 (11.7%)	+41.5%	+235	

営業利益 +71百万円(前年同期比+6.4%)

単位:百万円



2015年8月期
第2四半期累計

2016年8月期
第2四半期累計

(単位:百万円、下段は構成比)

	2015年8月期 第2四半期累計	2016年8月期 第2四半期累計			
		実績	前年同期比	計画	計画比
売上高	4,354 (100.0%)	4,898 (100.0%)	+12.5%	4,850 (100.0%)	+1.0%
タイム収入	3,055 (70.2%)	3,594 (73.4%)	+17.6%	3,467 (71.5%)	+3.7%
スポット収入	1,132 (26.0%)	1,218 (24.9%)	+7.6%	1,321 (27.2%)	▲7.8%
その他	166 (3.8%)	86 (1.7%)	▲48.3%	61 (1.3%)	+39.8%

主な増減要因(前年同期比)

■ タイム収入

- ・新規通販枠の獲得、既存通販枠単価が引き続き上昇したことによりタイム収入増加
- ・アニメ番組放送時間枠増加によるタイム収入増加

■ スポット収入

- ・韓国ドラマの根強い人気に支えられ、間に放送する通販スポット販売が引き続き堅調に推移
- ・BS放送の媒体価値向上に伴い、純広スポットも順調に増加

■ その他

- ・アニメ制作委員会への出資に伴う配当金収入

主要費用項目実績

(単位: 百万円、下段は売上比)

	2015年8月期 第2四半期累計	2016年8月期 第2四半期累計		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	1,240 (28.5%)	1,245 (25.4%)	+0.4%	
番組購入費	195 (4.5%)	185 (3.8%)	▲5.0%	新規通販枠の獲得に伴う購入番組の減少
番組制作費	1,045 (24.0%)	1,060 (21.6%)	+1.4%	放送番組内容の充実による増加
放送関連費用(原価)	313 (7.2%)	339 (6.9%)	+8.4%	
放送委託費	277 (6.4%)	277 (5.7%)	-	
技術費	35 (0.8%)	61 (1.2%)	+74.4%	放送関連施設充実のための施設移設費用増加
広告関連費用(販管費)	247 (5.7%)	418 (8.5%)	+69.1%	
広告宣伝費	222 (5.1%)	377 (7.7%)	+69.7%	番組視聴世帯数増加に向けた広告宣伝活動の強化による増加
販売促進費	25 (0.6%)	40 (0.8%)	+63.2%	機械式視聴世帯数調査開始による増加 (2015年4月開始)

貸借対照表／キャッシュ・フロー計算書の概要

貸借対照表

(単位:百万円、下段は構成比)

		2015年8月期末	2016年8月期	
			第2四半期末	増減額
流動資産		7,892 (52.8%)	7,741 (52.3%)	▲151
	固定資産	7,049 (47.2%)	7,065 (47.7%)	+16
資産合計		14,942 (100.0%)	14,807 (100.0%)	▲135
流動負債		1,782 (11.9%)	1,123 (7.6%)	▲659
	固定負債	72 (0.5%)	60 (0.4%)	▲11
負債合計		1,854 (12.4%)	1,184 (8.0%)	▲670
純資産合計		13,087 (87.6%)	13,622 (92.0%)	+535
負債・純資産合計		14,942 (100.0%)	14,807 (100.0%)	▲135

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2015年8月期 第2四半期累計	2016年8月期 第2四半期累計
営業キャッシュ・フロー	858	705
税引前当期純利益	1,096	1,185
減価償却費	79	119
売上債権の増減額(▲は増加)	▲25	▲51
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲53	▲14
未払費用の増減額(▲は減少)	▲119	6
法人税等の支払額	▲83	▲481
投資キャッシュ・フロー	▲73	▲530
有形固定資産の取得による支出	▲67	▲537
財務キャッシュ・フロー	▲233	▲275
配当金の支払額	▲222	▲266
現金及び現金同等物の増減額	551	▲100
現金及び現金同等物の期首残高	4,794	6,131
現金及び現金同等物の期末残高	5,346	6,031

単位:百万円

売上高

単位:百万円

タイム収入

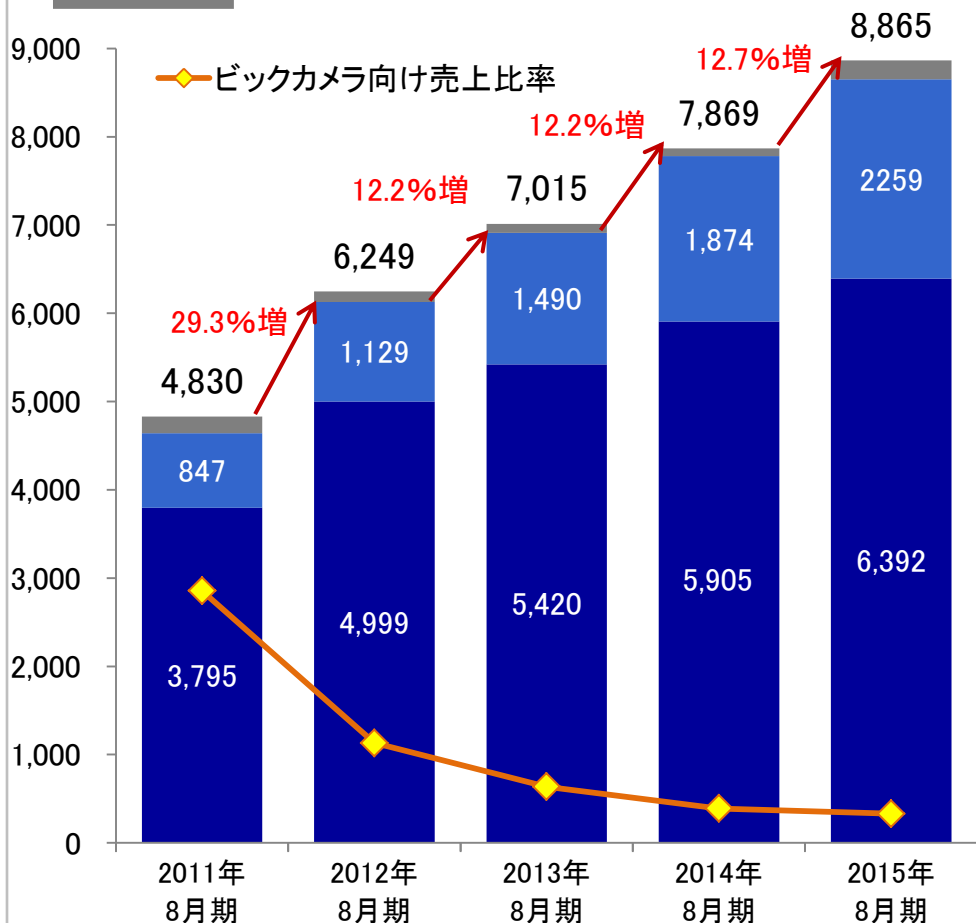
- ・広告主に番組の放送時間枠を販売
- ・広告主の提供する番組およびCMを放送

スポット収入

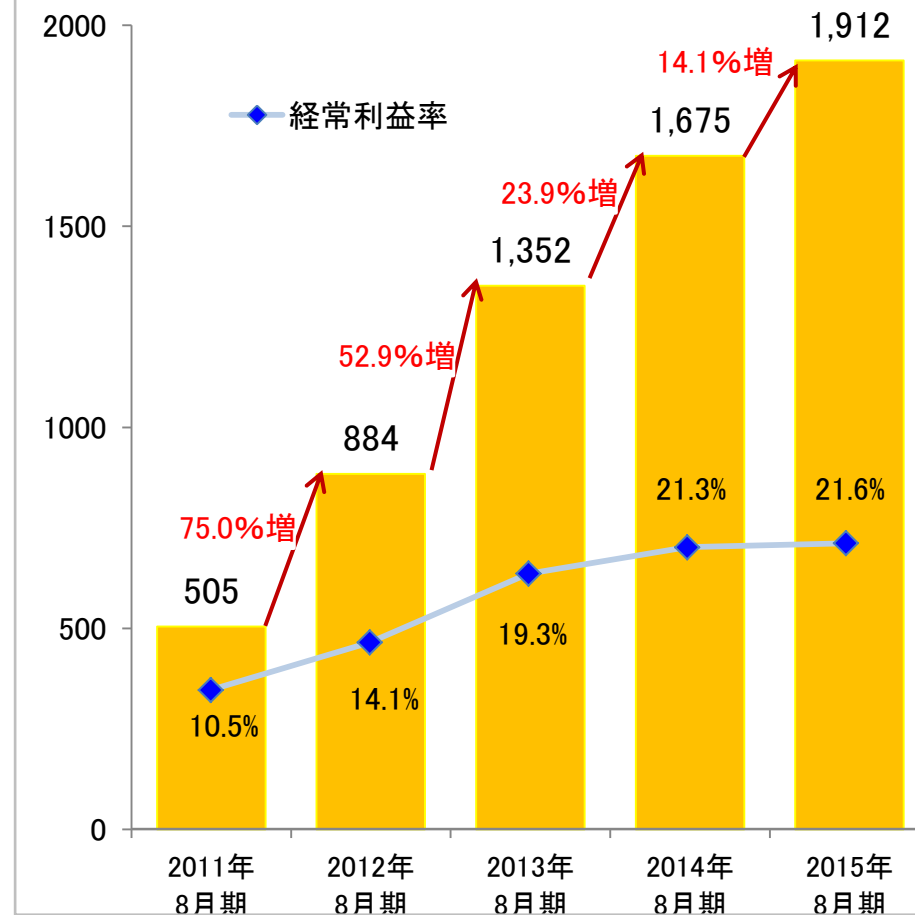
- ・広告主に番組と番組の間の時間枠等を秒単位で販売
- ・広告主のCMを放送

その他収入

- ・地上波ローカル局等への番組販売
- ・番組制作による収入

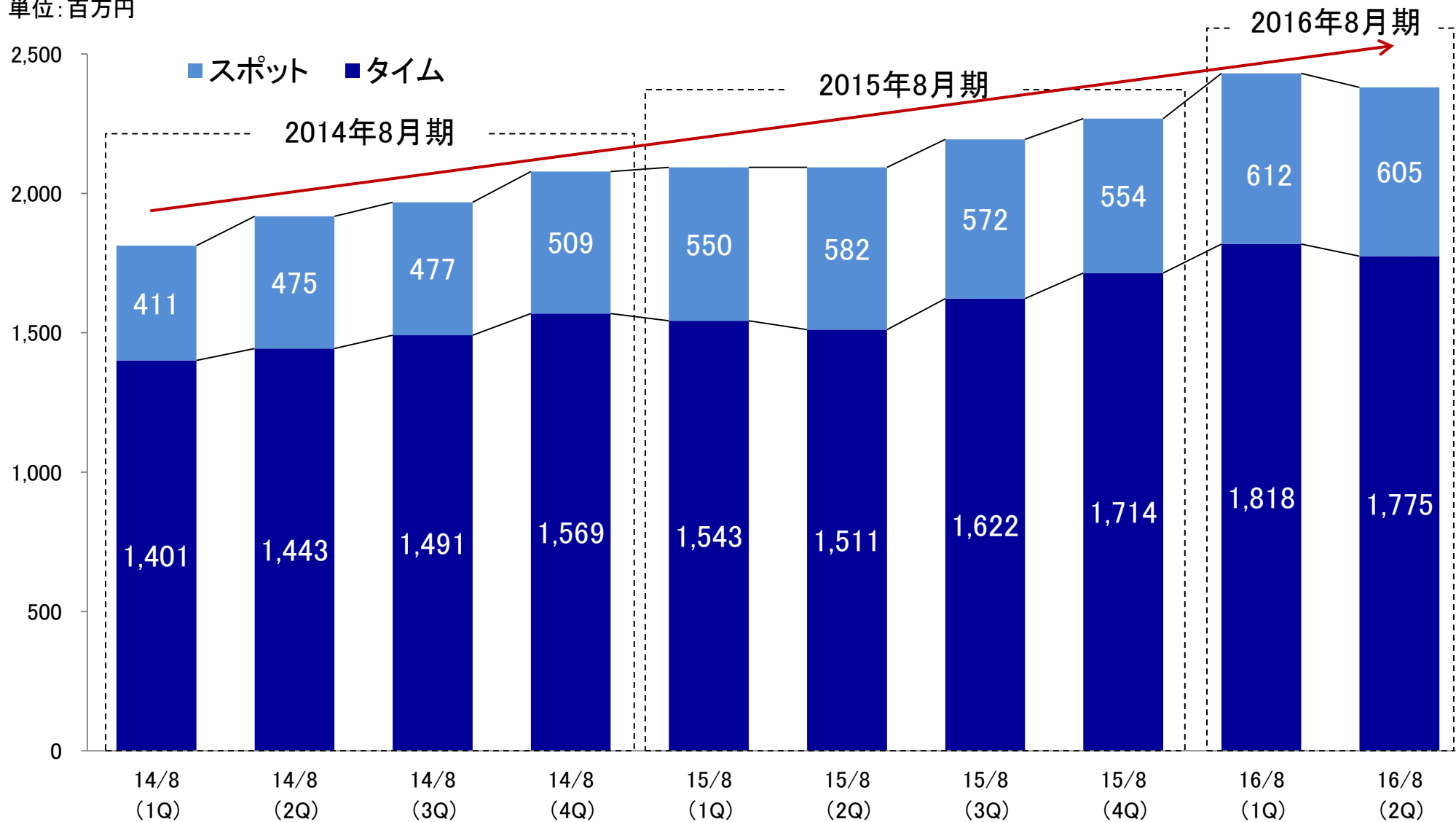


経常利益



◆ 売上高の変動に季節的要因はなく、引き続き増加トレンド

単位: 百万円



売上高は**10,200**百万円(前期比15.1%増)、営業利益は**2,000**百万円(前期比2.0%増)、
当期純利益は**1,350**百万円(前年比11.0%増)を計画

(単位:百万円、下段は構成比)

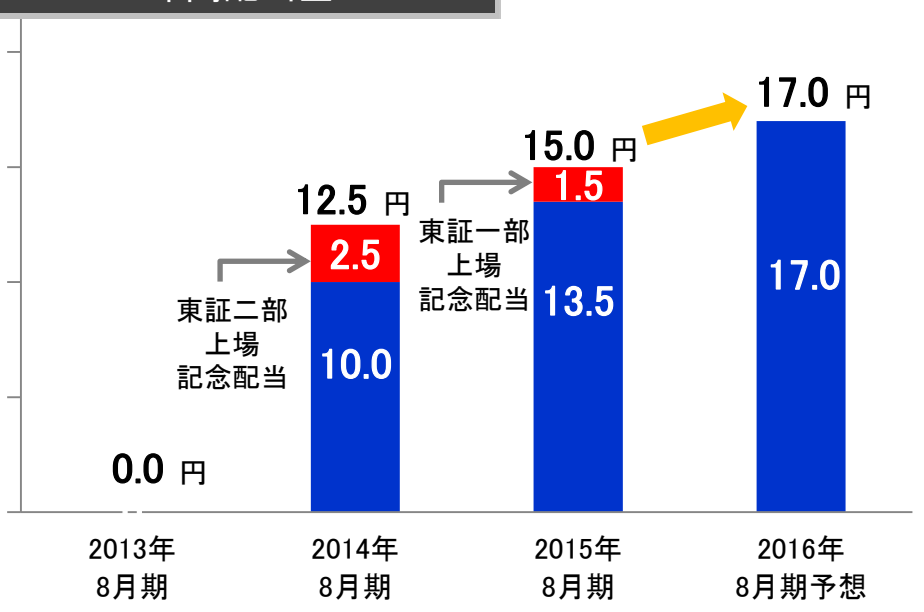
	2015年8月期		2016年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	4,354 (100.0%)	8,865 (100.0%)	4,898 (100.0%)	+12.5%	10,200 (100.0%)	+15.1%	+1,334
タイム収入	3,055 (70.2%)	6,392 (72.1%)	3,594 (73.4%)	+17.6%	7,581 (74.3%)	+18.6%	+1,188
スポット収入	1,132 (26.0%)	2,259 (25.5%)	1,218 (24.9%)	+7.6%	2,455 (24.1%)	+8.7%	+195
その他	166 (3.8%)	214 (2.4%)	86 (1.7%)	▲48.3%	164 (1.6%)	▲23.4%	▲50
営業利益	1,113 (25.6%)	1,960 (22.1%)	1,184 (24.2%)	+6.4%	2,000 (19.6%)	+2.0%	+39
経常利益	1,096 (25.2%)	1,912 (21.6%)	1,185 (24.2%)	+8.1%	2,000 (19.6%)	+4.6%	+87
当期純利益	708 (16.3%)	1,216 (13.7%)	802 (16.4%)	+13.2%	1,350 (13.2%)	+11.0%	+133

期末配当金を2円増配、17.0円を計画

配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した**利益配当を**継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。

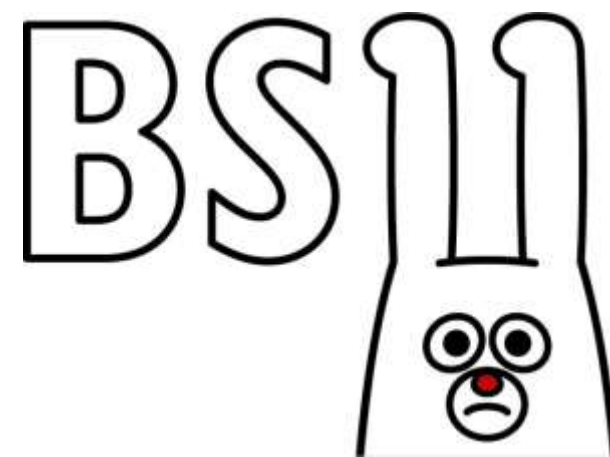
年間配当金

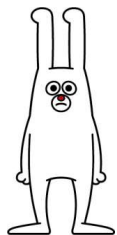


	2013年 8月期	2014年 8月期	2015年 8月期	2016年8月期 (予想)
年間配当	0 円	12.5 円	15.0 円	17.0 円
普通配当	0 円	10.0 円	13.5 円	17.0 円
記念配当	0 円	2.5 円	1.5 円	0 円
1株当たり 当期純利益	91.87円	77.67 円	68.34 円	75.83 円

(注) 1. 2013年12月16日付株式分割(1対2)、及び2014年8月1日付株式分割(1対2)を遡及計算して記載。

II 事業環境





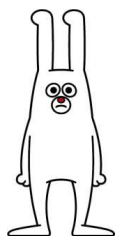
POINT 1

全時間帯において、全国約4,000万世帯で同時に同一の放送を視聴可能



POINT 2

BSの市場規模は年率11%以上の成長を継続



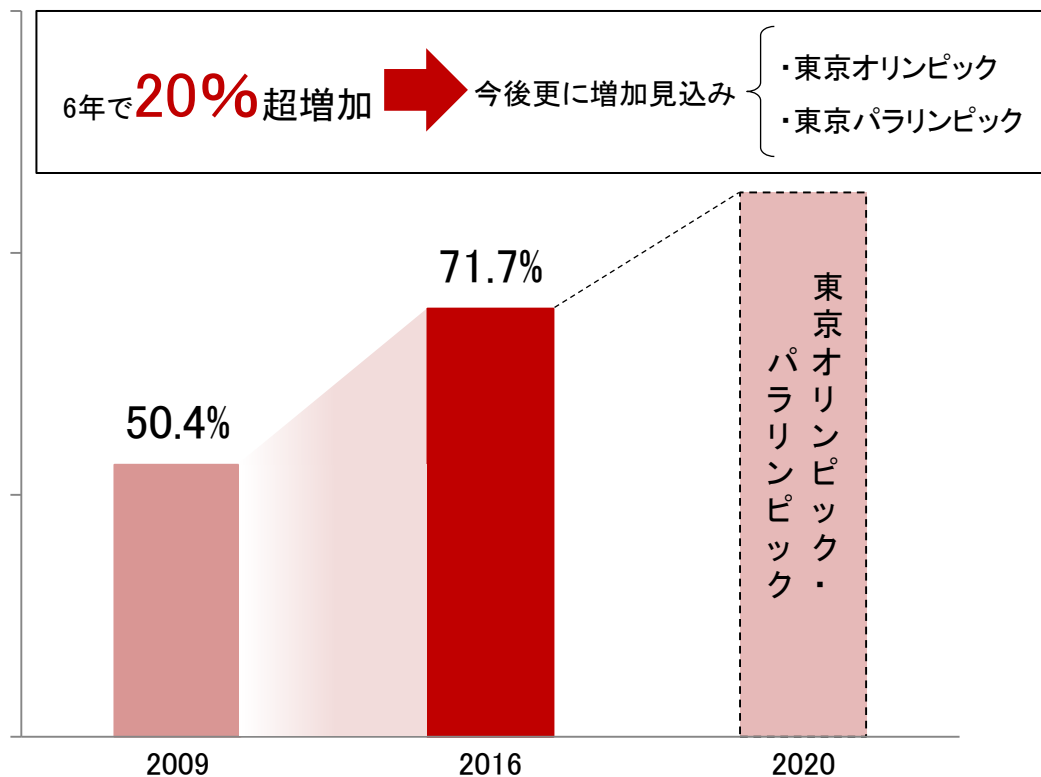
POINT 3

地上波とは全く異なるコスト構造により高効率の広告ビジネスを実現

【全時間帯において、全国約4,000万世帯で同時に同一の放送を視聴可能】

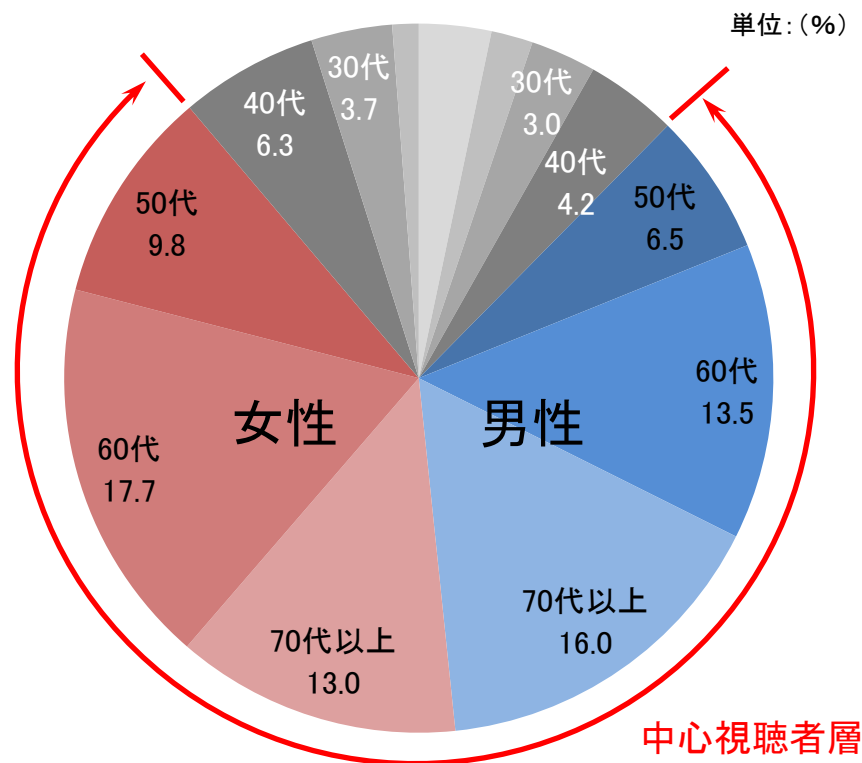
- ◆ 2011年の地上テレビ放送完全デジタル化を契機に、BSチューナー搭載テレビ累計出荷数**1億3000万台**
- ◆ パラボラアンテナ・ケーブルTVを利用したBS放送視聴可能世帯も約**4,000万**世帯まで普及(約70%)

BSデジタル放送視聴可能世帯



(出所) ビデオリサーチ「BS世帯普及率調査」
 ※ 2009年は8月と10月調査の平均。2016年は2015年12月と2016年3月の平均。

民放BSよく見る層の性年齢構成

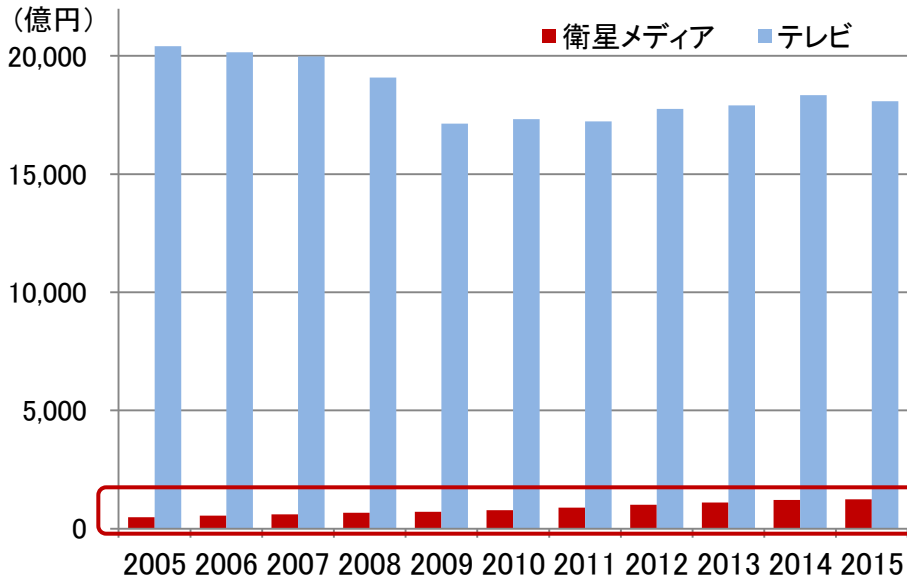


(出所)「BSデジタル放送メディアパワーガイド」

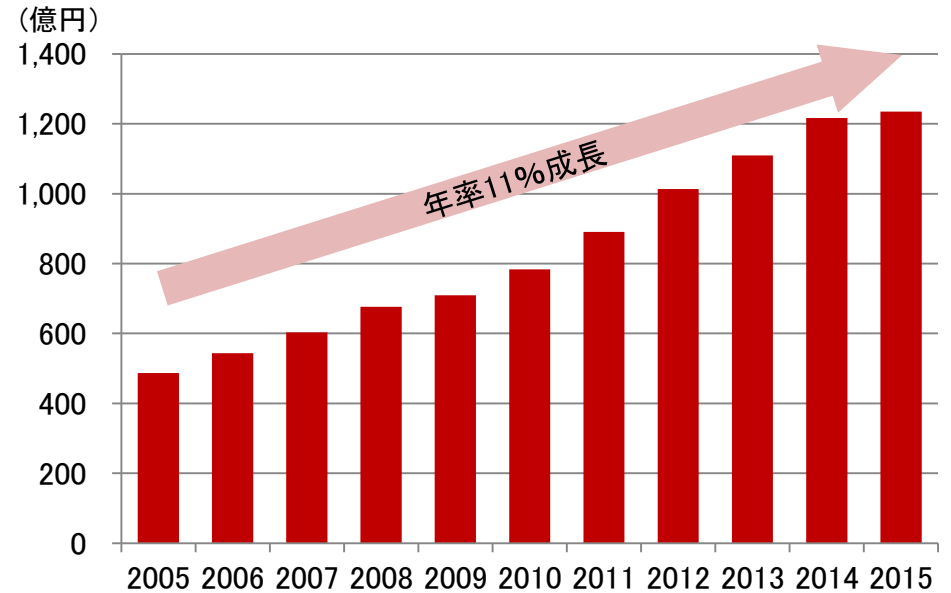
【BSの市場規模は毎年成長を継続】

◆地上波の広告費が横ばいに対し、BS広告市場は成長を続ける

媒体別広告費

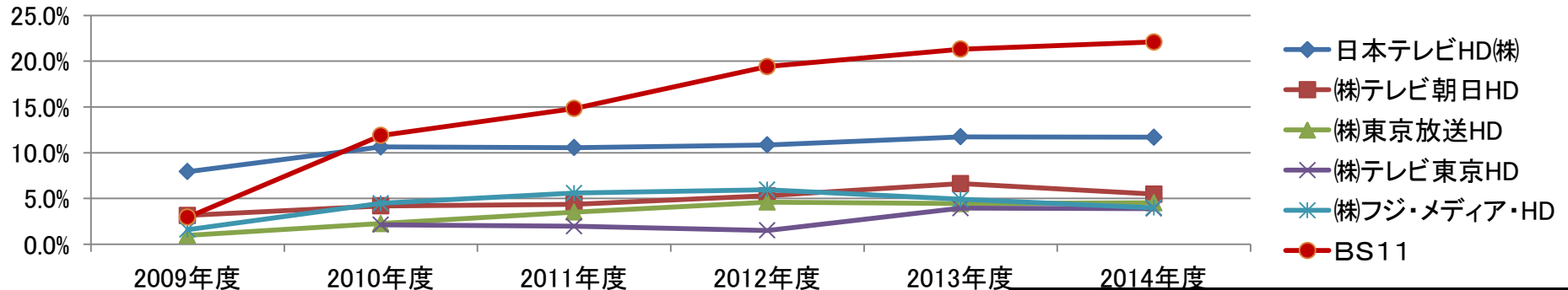


衛星メディア広告費



(出所) 電通「日本の広告費」※ 衛星メディアにはBS放送、CS放送、ケーブルテレビが含まれる

競合他社との営業利益率比較



(出所) 各社発表の有価証券報告書

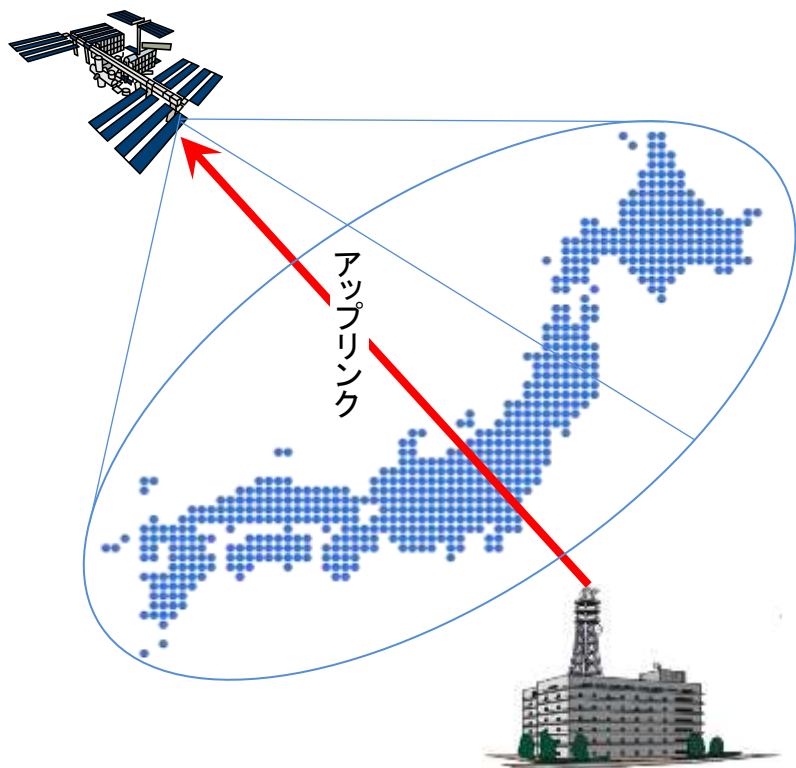
【地上波とは全く異なるコスト構造により高効率の広告ビジネスを実現】

◆地上波に比べ低コストでの放送 ⇒ 割安な広告費で日本全国に放送可能

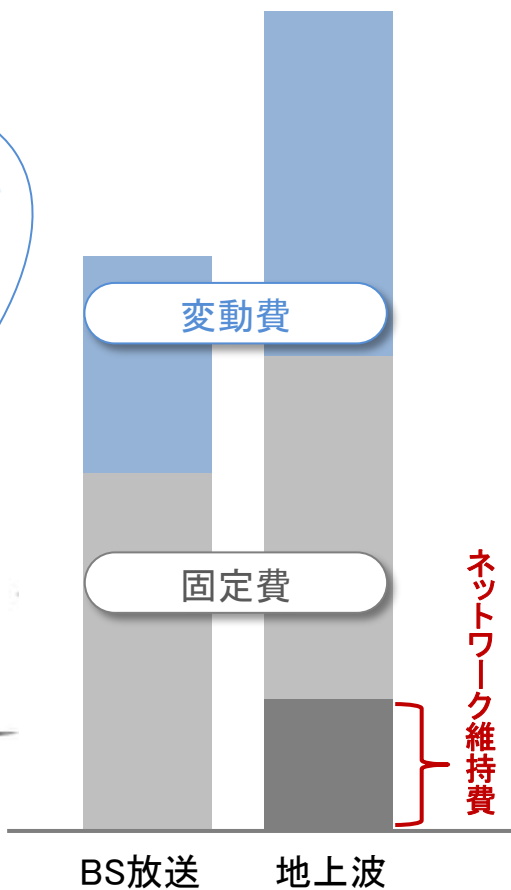
無料BS放送

コスト構造の比較

キー局系列の地上波放送



- ・日本全国に電波の送信が可能
- ・ネットワークの構築が不要



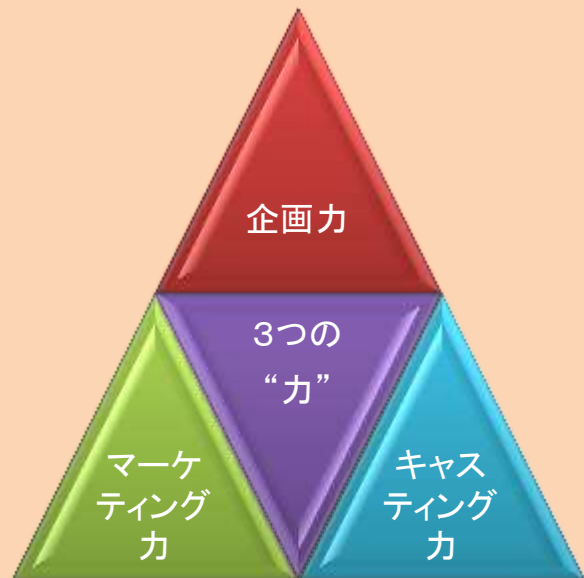
- ・少数チャンネル地域の存在
- ・嵩むネットワーク維持費

Ⅲ 重点経営施策



持続的な成長への基本戦略＝「3つの“力”」と「5本の矢」

持続的成長に必要な3つの“力”



・企画“力”

視聴者やクライアントのニーズを捉え、的確な企画立案

・キャスティング“力”

映像の「商品価値」を高めるスタッフ・出演者のキャスティング

・マーケティング“力”

データベースを用いて潜在的な需要を喚起し効果的に戦略実行

重点施策としての「5本の矢」

① 自社制作番組の選択と集中

- ・人気番組に集中して資源を投下
- ・番組を「作品」から「商品」へと昇華

② 情報番組の選択と拡大

- ・プレミアエイジへのホスピタリティの強化
- ・イベント等番組連動企画の立ち上げ

③ スポーツ&エンターテインメントの強化

- ・新たなニーズの発掘と適切な対応
- ・「癒し」や「楽しみ」を提供する番組作り

④ アニメ番組の強化

- ・得意分野の更なる強化
- ・目指すのは「アニメといえばBS11」

⑤ 地方局とのコラボレーションの強化

- ・独立局の強みを生かした差別化施策
- ・日本各地の「いいもの」を全国へ発信

①自社制作番組の選択と集中

【2016年4月クールは大幅な改編を実施】

既存番組の時間移動を含めると、平日プライムタイムで**97.6%**という驚異的な改編を実施

毎週新作を放送するレギュラー番組も新たに開始しており、自社制作番組へ資源を集中

新

報道



新

エンターテインメント



新

エンターテインメント



新

エンターテインメント



新

紀行・教養



紀行・教養



②情報番組の選択と拡大

・プレミアエイジへのホスピタリティ強化

全国どこからでも、いいものを欲しい時に購入。全国各地で産出される「いいもの」を紹介することで、気軽に買いに行くことが難しいプレミアエイジに対して、「買う楽しみ」を提供。

・QVCのレギュラー枠参入

「世界最大級のテレビショッピング」を謳うQVCが新たに夕方レギュラー枠に参入。

④アニメ番組の強化

・アニゲー☆イレブン！

人気声優 久保ユリカさんをMCとしてアニメ・ゲームなど様々な情報を多彩なゲストと共に紹介する番組。



・製作委員会への出資

アニメコンテンツの放送のみならず、製作委員会へ出資し、チームの一員となることにより、より深くアニメに関わっていく。

目指すのは、「アニメといえばBS11」

③スポーツ&エンターテインメントの強化

熱血宣言

BS11 SPORTS

・中畑清 熱血！スポーツ応援団

元祖・絶好調男！ の熱血MC中畑清さんが「神スイング」で話題になった稲村亜美さんと共に、すべてのスポーツを、あらゆる角度から熱血応援！



・日本女子ソフトボールリーグ

昨年はビックカメラ高崎の優勝で幕を閉じた日本女子ソフトボールリーグ。今年も熱戦をお届けする。



⑤地方局とのコラボレーション強化

・全国桜リレー中継

京都・醍醐寺の桜生中継特別番組を皮切りに、日々移ろいゆく全国の桜を「報道ライブ MOVE UP22」内で放送。

独立系BS局の強みを生かし、全国のローカル局とタイアップすることで全国各地の「旬」を切り取って全国に紹介。



・共同製作番組

KBS京都共同製作「京都・国宝浪漫」をはじめとした「地元だけが知るいいところ」を共同製作で全国放送。



新キャッチフレーズ



動画、ポスター、看板、新聞など大規模に広告展開を実施。
各媒体を同時に有機的に展開することで視聴誘導すると共に「BS11」を印象付ける。

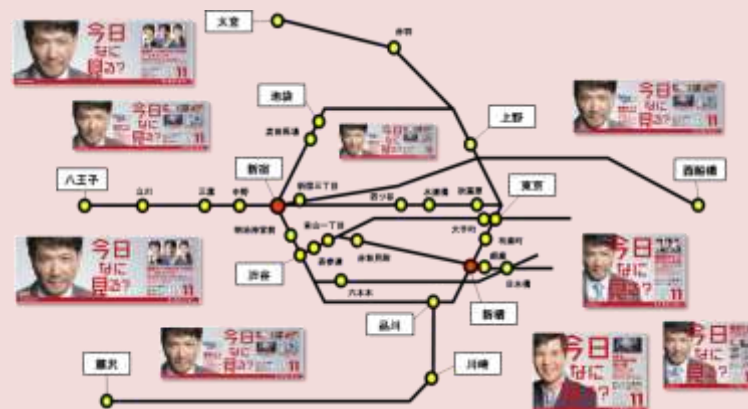
看板・動画広告展開

・地上波、トレインチャンネルへのスポットCM展開

北海道、東京、静岡、名古屋の各地上波ローカル局でスポットCMを放送。

また、首都圏、関西エリアのトレインチャンネルでの動画広告も展開。

・首都圏各駅へのポスター展開



・ビックカメラ、ソフマップ壁面看板展開



ビックカメラ有楽町店



ソフマップ秋葉原本館

イベントへの出展

・AnimeJapan2016



来場者13.5万人と日本最大のアニメイベントへ出展。今年初めてのステージイベントと公開収録を実施し、多くの観客を集めた。

・東京モーターサイクルショー2016



来場者13.2万人のオートバイイベント。当社番組「MOTORISE」の公開収録、コラボグッズの販売を実施。公開収録にはゲストとして藤岡弘、さんを迎え、他にも当社放送アニメ「ぱくおん！」とのコラボイベントも実施し、会場を盛り上げた。



コンテンツ販売実績(例)

・世界豪華客船紀行

世界各地の豪華客船で巡る極上の旅をお届けする紀行番組。プレミアムエイジに人気のコンテンツ。



・憧憬！大人のゴルフ旅(Season1・Season2)

日本各地の名ゴルフコースをプロゴルファーが紹介すると共に、ゴルフ場周辺の見どころも紹介する一風変わったゴルフ紀行番組。



・日本ほのぼの散歩

日本各地を散策し、魅力的な、いいところを紹介する癒し番組。各地で出会った地元の方々との暖かな交流も人気の秘密。



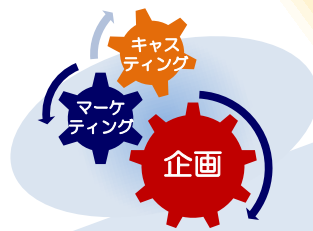
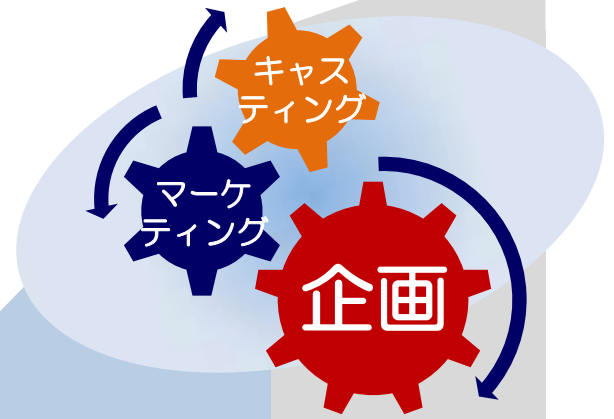
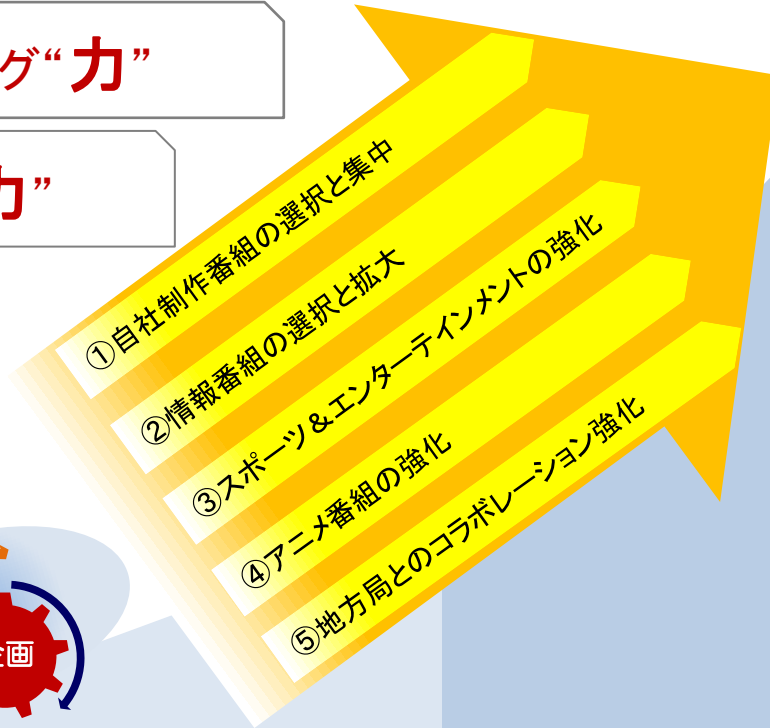
(収益)

成長のキーワード=

広告単価

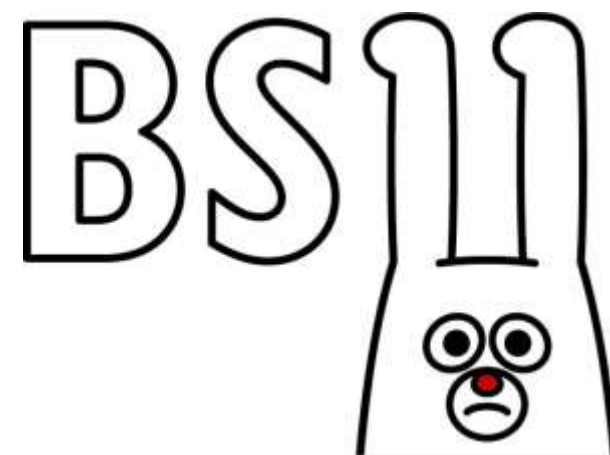
×

広告数



(時間軸)

IV (ご参考)会社概要



会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台2-5
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長兼社長 齋藤 知久
設立	1999年8月
資本金	4,183,198千円(2015年8月31日現在)
従業員数	81名(2015年8月31日現在)

BS11
- 経営理念 -

<経営理念>

質の高い情報を提供することで
人々に感動を与え
幸せな社会づくりに貢献します。

<経営ビジョン>

豊かで 癒される 教養・娯楽番組と
中立公正な 報道・情報番組を発信し
『価値ある時間』を約束します。

<行動指針>

- ・ 公共的使命を認識し社会の信頼に応えます。
- ・ 良質なコンテンツの創造を追求します。
- ・ 常に新しい可能性に挑戦します。

日本BS放送株式会社

- | | |
|----------|--|
| 1999年8月 | 株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立 |
| 2000年12月 | BSデジタルデータ放送開始 |
| 2004年9月 | 東経110度CSデジタル放送開始 |
| 2007年12月 | BSデジタルハイビジョン放送(BS11)開始 |
| 2010年4月 | 一般社団法人日本民間放送連盟に入会 |
| 2010年11月 | 株式会社ジュピターテレコム(J:COM)において再送信開始 |
| 2011年1月 | 競馬中継開始 |
| 2011年10月 | 接触率調査(BSパワー調査)に参加(BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSフジ、BSジャパン、BS11の6局) |
| 2014年3月 | 東京証券取引所市場第2部へ上場 |
| 2015年3月 | 東京証券取引所市場第1部へ上場 |

全国どこでも無料で見られるBS放送局の運営

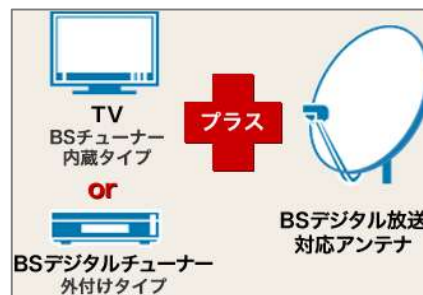
BS放送のチャンネル(全国)

無料/有料	有料		無料					有料					無料		
チャンネル	101	103	141	151	161	171	181	191	192	193	200	201	202	211	222
リモコン	1	2	4	5	6	7	8	9	9	9	10	10	10	11	12
放送局名	(NHK BS1)	(NHK BSプレミアム)	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BS JAPAN	BSフジ	WOWOWプライム	WOWOWライブ	WOWOWシネマ	スターチャンネル1	スターチャンネル2	スターチャンネル3	当社 BS11	Twelve

地上波放送のチャンネル(関東)

チャンネル	1	2	4	5	6	7	8
リモコン	1	2	4	5	6	7	8
放送局名	NHK総合	NHK Eテレ	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ

BS11の視聴に必要なもの



または ケーブルテレビ加入

CATV

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <http://www.bs11.jp/>



